

第5号様式（第7条関係）

会議録

会 議 の 名 称	平成24年度第2回清須市社会教育委員会
開 催 日 時	平成24年10月30日（火） 午後3時00分～3時55分
開 催 場 所	清洲市民センター 2階 集会室
会 議 概 要	1 あいさつ 2 議事 議題1 平成25年度生涯学習講座・スポーツ教室、教室等事業計画について 3 その他
会 議 資 料	会議次第 資料1 生涯学習講座・スポーツ教室開催についての の取り決め 資料2 平成24年度生涯学習講座・スポーツ教室 等 中間報告 資料3 平成25年度生涯学習講座 新規（案） 資料4 平成25年度生涯学習講座・スポーツ教室 等事業計画（案）
傍 聴 人 の 数 （公開した場合）	0人
欠 席 委 員	平松副委員長、櫛田委員、岡松委員
出 席 者 （ 市 ）	内田敏正教育長、櫻井教育部長
事 務 局	（生涯学習課） 濱島次長兼生涯学習課長、加藤主幹、石田係長、 檜本係長、高山主任主査、阿野主査 （スポーツ課） 岩花課長、前田主幹、木全係長
会 議 の 経 過 （教育長よりあいさつ） （和田委員長よりあいさつ） 《意見の要旨》 議題 1 平成25年度生涯学習講座・スポーツ教室等事業計画について ●事務局	

（「平成25年度生涯学習講座・スポーツ教室等事業計画について」資料1から4に基づき説明）

○和田委員長

ただいまの内容についてご協議をお願いいたします。皆様のご意見、ご質問はございませんか。

○伊東委員

新規講座のことについてですが、ニーズに合わせてというのは当然だと思うのですが「新規講座のニーズ」というのはどうやって調査をされていますか。

●事務局

ニーズについては、それぞれの講座の最終日にアンケートをお願いしております。受講者の皆様が今後、受講したい講座の希望をお尋ねしています。その中で、多数提案があるものについてはニーズがあると判断し、検討しております。ただ、実際には趣味的な内容のものが多いです。

○和田委員長

アンケートの内容はどのようなものですか。

●事務局

受講された講座内容についてお聞きしているものがほとんどで。それ以外には、性別、年齢、参加動機や講座開催を何でお知りになったか、開催時間や曜日の希望、今後受けてみたい講座などです。参加した講座の感想もいただいております。

○伊東委員

説明の中で、60代以上の女性の方が多い中で、もっと年代を下げた年代の方を取り入れたいということですが、はたして60代以上の方に聞いて有効なのかどうかということが一つあります。

また、ただ単に「受けたい講座を書いてください」という問いに対しては、思いつきで書いてみたけれど、実際には受講するかはわからないという曖昧な状況ですね。例えば、1年前に「次年度の講座の提案があって、こういう講座があります。参加しますか？」という問いであれば、非常に明確に答えやすい。「こんなもの」と思うものもあったり、「これなら参加してみたい。」と思ったり。講座をせっかくやるのでしたら、参加していただきたいし、市の方角付けにもなるのかなと思います。

また、ターゲット、違う年代の層をどうやって調査するのかというのが何かアイデアがいるのかなという気がいたします。

○和田委員長

今のご意見はかなり難しいと思うのですが、まずアンケートで統計を取ってから講座名を示して、もう一回アンケートで講座を受けられた方に聞くという

ことですね。他にございませんか。

○牧野委員

資料1の独自講座の4番目「ニュースポーツを推進する講座」から少し状況が変わったから「市民の健康づくりを推進する講座」に変えたということだが、先程の説明によると、清須市総合型スポーツクラブに関連した講座ということなんですね。そういう書き方なら清須市独自のものだということが分かるんだけど、このような一般的な書き方だと、なぜこれが独自講座なのかがわからないのではないかという気がいたしますが。

●事務局

委員が申し上げられましたとおり、その通りだと思います。これまでは「ニュースポーツを推進する講座」と書いてきたのですが、清須市総合型スポーツクラブということで結び付けさせていただいて、少し文言を替えて表現したいと思います。

○鬼頭委員

語学講座についてですが、今まで人気講座であった「はじめてならう中国語」と「はじめてならうハングル」の語学講座が、これに関して人数が随分減っていますね。これは時間帯を変えたりしてみてもいいかですか。また、夜の時間であれば参加できるのだけれどという話を時々耳にしますので、そういう方向で検討していただくのはどうですか。

また、中国語もハングルも「はじめて」の内容になっていますが、ランクを上げて、初級とか中級とかに持っていけないでしょうか。次のステップに進みたいのではないかなと思います。

●事務局

中国語とハングルにつきましては、平成22年度以降は、受講された皆さんにサークル作りをお勧めさせていただいています。両講座共、自分たちでもう少しステップアップしたいということで、サークルを作られて熱心に学習されていて、すでに中級以上に進んでいるグループもあります。生涯学習講座は学習のきっかけ作りであって、それからのステップアップは各自で学んでいただくよう進めています。

また、ハングルは開催時間を、22年度は昼、23年度は夜、今年度は昼ということで交互に開催させていただきました。

中国と韓国はお隣の国でもありますし、先生方もたいへん魅力的な先生方で、人気も高く継続を希望する声もあると思いますが、開催年数を取り決めの年数を超えたこと、また、人数が減ったことから、一旦終了とさせていただき、少し時間を置いた形で希望を伺いながら、再度ご提案させていただきたいと思っております。

○石黒委員

知識や教養を身に着ける講座の中で、文芸講座を調整中ということですが、万葉集や古今和歌集から心のルーツを探るということで、結構だと思います。東歌だとか、防人の歌など、その当時の地域の風習やいろんなことが分かるようなものを取り上げていただければと思います。

○和田委員長

ぜひ、内容について検討してみてください。他にございませんか。

○齊藤委員

数点お聞きしたいと思います。まず、総合型地域スポーツクラブを作られる方向ですが、隣接の北名古屋市が旧師勝地区と旧西春地区との兼ね合いの中で、5、6年になりますが、なかなか誘導できないということです。本市では、どういうことに問題があって、そういう実績を踏まえた上での実質的なご提案であるのかというのが1点目です。

2点目は、今年度の「はじめてならう中国語講座」と「はじめてならうハングル講座」の参加率ですが、たとえば8回の講座で、過半数もいってない3回を基準にしているのかが分かりづらいということ。

3点目は、ハングルや中国語は国際問題になっているお二つの国ですよ。隣接の国であるからこそ、こういう問題がでてきているのですが、その影響がでてきているのかということ。

4点目ですが、25年度生涯学習講座の中で「フィンランド語入門」があがっていて、「旅行先としても人気が高いフィンランド」とありますが、本当に人気が高いのか。私が考えるには、英語圏やヨーロッパのイタリア、フランス、先ほどの中国などのほうが人気は高いのではないかと思います。距離も遠いですし、ここに行ける階層というのは少ないのではないかと。どういうところからこれを捉えられたのかを教えてください。

●事務局

まず1点目ですが、近隣の北名古屋市がふれあいスポーツクラブということで、すでにオープンしておりまして、旧西春町で5つのスポーツクラブ、旧師勝町で1つのスポーツクラブがオープンいたしました。私も飛込みで行って、参加したり、指導のお手伝いをさせていただいたりするなかで色々勉強をさせていただきました。北名古屋市の場合は18～20種目という多種目で、また、広範囲にわたって募集をされているということで、最初は人数集まったのですが、だんだん停滞してきているというのをお聞きしています。

そういうことを踏まえて、清須市で新しく作ろうとしている総合型地域スポーツクラブですが、今もっとも注目されているフィットネス系、つまり健康体操系を中心にターゲットを絞らせていただき、生徒さんに集まっていただこう

と計画しているのが清須市の総合型地域スポーツクラブでございます。

2点目については、資料1の講座開催の取り決めに添って、一般講座については3年以上の講座を見直していくという意味で、継続開催年数が3年ということで書かせていただきました。中国語については連続して開催した回数が4年、ハングルについては6年ということで、3年以上の講座を見直していくという意味です。

○齊藤委員

8回中の3回目ではなく、3年以上ということですね。

●事務局

その通りです。3点目のご質問についてですが、ハングル講座は現在も開催中ですが、隣接の国との国際問題での影響は関係ございません。

4点目にご質問いただきました「フィンランド語入門」についてですが、ヨーロッパ圏と並んで北欧圏への旅行が取り上げており、また、セントレアからは直行便もでております。また、教育や文化、福祉の面においても注目が集まっている地域でもありますので、北欧が熱いのではと考え、ご提案をさせていただきました。なお、講師については、高等教育機関やリカレント教育を推進している学びネット愛知の講師登録から探しました。

○石垣委員

この市民の健康を推進する講座ですが、まだ、具体的に何ということは決まってないのですか。

●事務局

今のところ9種目は決まっております。申し上げますと健康スポーツ教室では、ピラティス、バレトンなど、バレエダンスとかエアロビクスとかストレッチなどを組み合わせて体の中心部分、コアを鍛えていこうというのが非常にはやっております。

○石垣委員

ありがとうございます。その種目はよくわかりませんが、若い方なら分かるんですね。種目が決まっているというのは結構なのですが、自己実現に対しては何歳でも首を突っ込めば、それなりにということですが、社会の役割として、何か貢献できるといいなということであれば、先程の「フィンランド語入門」じゃないですけど、新しいことに触れて、そういう方たちが興味を持って、首を突っ込まれれば、そこからいろいろやる年数もあるじゃないですか。ですから、パラレルキャリアを取り込むことについては非常にいいなと思います。60、70歳から、お一人で何かを習っても何もできないんですよ。お年寄りも健康で、若い方も育てるという窓口がほしいと思っていたので非常にいいなと思いました。ぜひ、そのバランスを考えていただきたいと思います。

スポーツは継続しないと効果も出ないんですよ。手前味噌で申し訳ないんですけど、太極拳を始めて20年近くもなると、最高齢93の方もいらっしゃるんですね。そうすると、立ってできなくなるんです。でも、これまでの継続があるので座ってならなんとかできるんですね。40人くらいの仲間たちで、なんとか老いるカーブ、幕引きを上手くできるように、いけない時間帯を短くしようね。とやってやっている現状ですので、バランスをとっていただいて講座を開いていただけるといいと思います。

○牧野委員

今年度やられた「食育料理教室」ですが、今年度応募者が0だったということで、23年度は12組募集して12組応募があり、これまでかなり実績があったと思うのですが、今年度はどういう理由で0になったのかを教えてください。

●事務局

委員おっしゃられたとおり、昨年までは参加率も高く、親子で参加いただいて「食べたもので体はできているんだよ」と解りやすい語り口の講義と、献立を調理実習する充実した内容でご指導をいただいております。

今年度募集したところ、1組も応募が無く、小学校を通じて再募集も掛けたのですが、どうして受講者が0組だったかという背景がつかみきれてはいたのですが、一つには講座を開催する曜日の変更の問題があったかと思います。土曜日に2回開催していた講座だったのを、1回目は金曜日に親だけが勉強し、2回目は土曜日に親子で調理という編成にしたことが、判りづらかったということと、もう一つには、産業課食育係や健康推進課でも似たような講座をやっているという絡みもあるかと思います。

○和田委員長

他にございませんか。

ないようでしたら、続きまして「その他」に入ります。

事務局、何かありますか。

●事務局

机上に第71号社教連会報を置いておきましたので、ご参考にしていただきたいと思います。

○和田委員長

もうこれで講座については終わりですか。もう一回ご審議いただく機会がありますか。

●事務局

次の予定としましては2、3月に予定をさせていただきます。

生涯学習ガイドの校正ということで、本日いただいたご意見を加味させてい

ただいた内容をご審議いただきたいと思います。

○和田委員長

先程、石垣委員さんがおっしゃられたとおり、バランスとか、社会教育としてこういうのが重要ということをお勧めいただければいいと思います。

それでは、これで終了させていただきたいと思います。

●事務局

長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。

これを持ちまして、平成24年度第2回社会教育委員会を終了させていただきます。

閉会（ 午後3時55分 閉会 ）

会 議 の 結 果	審議に関する事項はなし
問 い 合 わ せ 先	教育委員会生涯学習課 052-409-6471（清洲市民センター）